

## 代数と幾何 D (第2回小テスト・2007/11/14)

各小問 10 点 (150 点満点)

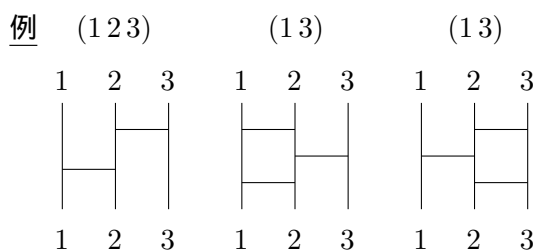
[1] 群の定義を書け。(群とは空でない集合で, どのような条件を満たすものか? 二項演算, 条件  $(G1), (G2), (G3)$  の内容を詳しく説明する)

[2] 次の置換は偶置換か奇置換かを答えよ.

(i)  $(1\ 2\ 3\ 4\ 5)$  (ii)  $(1\ 2\ 3) \circ (4\ 5)$  (iii)  $\left( (1\ 2\ 3) \circ (1\ 4) \right)^{-1}$

[3] (i) 次の置換に対応するあみだくじを書け. 但し, 横棒の数を出来る限り少なくすること. (横棒の数が最小本数の人にはボーナス点が加算される)

(i)-1  $(1\ 2\ 3\ 5\ 4)$  (i)-2  $(1\ 3\ 5\ 4\ 2)$  (i)-3  $(1\ 5\ 3\ 4\ 2)$



(ii) (i)-3 のあみだくじの最小本数は何本か?

(iii) (ii) が最小本数である理由を「偶置換」「奇置換」を用いて説明せよ.

[4]  $G$  を有限群とする.  $a \in G$  に対し,  $\langle a \rangle := \{a^n \mid n \in \mathbb{Z}\}$  であった. 以下を示せ.

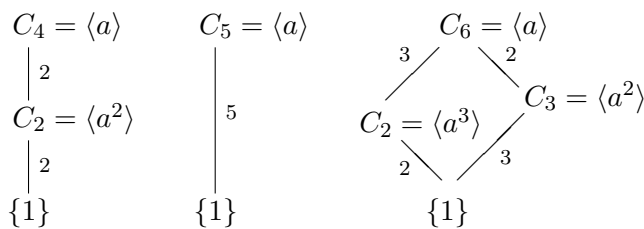
(i)  $\text{ord}(a) = \#\langle a \rangle$

(ii)  $a \in G$  に対し,  $\langle a \rangle$  は  $G$  の部分群である.

(iii)  $\langle a \rangle$  は可換群である.

[5]  $C_n = \langle a \rangle$  を位数  $n$  の巡回群とする.  $n = 8, 9, 10, 12, 16$  に対し,  $C_n$  の部分群を全て求め, その包含関係を Hasse 図を用いて表わせ.

例 (Hasse 図)



[6] (i) 3 次対称群  $S_3 = \{(1), a, b, c, d, e\}$ ,  $a = (1\ 2\ 3), b = (1\ 3\ 2), c = (1\ 2), d = (1\ 3), e = (2\ 3)$  の群表を  $(1), a, b, c, d, e$  を使って, 次の形で書け.

○	(1)	a	b	...
(1)	(1)	a	b	...
a	a	?		
b	b			
⋮				

(ii)  $S_3$  の部分群を全て求め, 包含関係を Hasse 図を用いて表わせ. (ヒント (i) を使う)

[7] (i) 群  $(G, \circ)$  から群  $(G', *)$  への準同型写像  $f: G \rightarrow G'$  とは, どのような条件を満たす写像か? その定義を書け.

(ii) 群  $(G, \circ)$  から群  $(G', *)$  への同型写像  $f: G \rightarrow G'$  とは何か? その定義を書け.

- [8] 有限群  $G, G'$  に対し, 同型写像  $f: G \rightarrow G'$  が存在するとする. すなわち,  $G$  と  $G'$  は同型 ( $G \cong G'$ ) であるとする. このとき, 以下を示せ.
- (i) 同型写像  $f$  の逆写像もまた同型写像である.
  - (ii)  $\forall a \in G$  に対し,  $f(a^n) = f(a)^n$ .
  - (iii)  $\forall a \in G$  に対して,  $\text{ord}(a) = \text{ord}(f(a))$ .
  - (iv)  $G$  が可換群ならば  $G'$  も可換群. ( $\forall a, b \in G$  に対し,  $ab = ba$  ならば  $f(a)f(b) = f(b)f(a)$ )
- [9] (i) 2つの位数  $n$  の巡回群  $C_n = \langle a \rangle, C'_n = \langle b \rangle$  は同型となる事を, 準同型写像を用いて示せ.  
 (ii) 位数4の巡回群  $C_4 = \langle a \rangle = \{1, a, a^2, a^3\}$  と  $V_4 = \{(1), (1\ 2)(3\ 4), (1\ 3)(2\ 4), (1\ 4)(2\ 3)\}$  は同型ではない事を示せ. (ヒント 問 [8](iii))  
 (iii) 3次対称群  $S_3$  と位数6の巡回群  $C_6 = \langle a \rangle = \{1, a, a^2, a^3, a^4, a^5\}$  は同型でない事を示せ.

[10]  $n$  次交代群  $A_n$  とは  $A_n = \{\sigma \in S_n \mid \sigma \text{ は偶置換}\} = \{\sigma \in S_n \mid \text{sgn}(\sigma) = 1\}$  なる  $S_n$  の部分群のことであった.

- (i) 4次交代群  $A_4$  の各元を巡回置換  $(i_1\ i_2\ \dots\ i_k)$  の積を使って書け.  
 (例  $A_3 = \{(1), (1\ 2\ 3), (1\ 3\ 2)\}, \#A_3 = 3$ )
- (ii) 4次交代群  $A_4$  の位数はいくつか?
- (iii) 5次交代群  $A_5$  の位数はいくつか?

[11] 二面体群  $D_n$  とは, 平面上の正  $n$  角形 ( $n \geq 3$ ) を空間内で動かし, 自分自身に重ねる変換全体のことであった. 時計回りの  $(2\pi/n)$  回転を  $\sigma$ , 1つの頂点  $n$  を動かさない裏返しを  $\tau$  とすれば,  $D_n = \{1, \sigma, \dots, \sigma^{n-1}, \tau, \sigma\tau, \dots, \sigma^{n-1}\tau\}$ ,  $\#D_n = 2n$  である.

- (i)  $\sigma, \tau, \sigma\tau$  の位数  $\text{ord}(\sigma), \text{ord}(\tau), \text{ord}(\sigma\tau)$  はそれぞれいくつか?
  - (ii)  $\tau\sigma = \sigma^{-1}\tau$  を示せ. (ヒント (i) を使う)
  - (iii)  $\sigma\tau\sigma^2\tau\sigma\tau$  を  $D_n$  の元として  $\sigma^i\tau$  の形で書け. (ヒント (ii) を使う)
- [12] (i)  $D_n = \langle \sigma, \tau \rangle$  を示せ. (ヒント 問 [11](ii), (iii))  
 (ii) 二面体群  $D_3$  と3次対称群  $S_3$  は同型となるか?  
 (iii) 二面体群  $D_n$  (位数  $2n$ ) と巡回群  $C_{2n}$  (位数  $2n$ ) は同型か?

[13]  $G$  を有限群とする.  $a, b, c \in G$  に対し, 次を示せ. (ヒント (iii) は (ii) を繰り返し使う)  
 (i)  $\text{ord}(a) = \text{ord}(a^{-1})$ , (ii)  $\text{ord}(ab) = \text{ord}(ba)$ , (iii)  $\text{ord}(abc) = \text{ord}(cab) = \text{ord}(bca)$ .

[14]  $H$  を群  $G$  の部分群とする.  $a \in G$  に対して,  $aHa^{-1} := \{axa^{-1} \mid x \in H\}$  は  $G$  の部分群であり, また  $|H| = |aHa^{-1}|$  を示せ. ( $H$  から得られた新たな  $G$  の部分群  $aHa^{-1}$  は,  $H$  の共役部分群と呼ばれている)

[15]  $M_n(\mathbb{R})$  を実数係数の  $n \times n$  行列全体の集合,  $\text{GL}_2(\mathbb{R}) := \{A \in M_n(\mathbb{R}) \mid \det(A) \neq 0\}$ ,  $\text{SL}_2(\mathbb{R}) := \{A \in M_n(\mathbb{R}) \mid \det(A) = 1\}$ ,  $H := \left\{ \begin{pmatrix} a & b \\ 0 & 1 \end{pmatrix} \mid a \in \mathbb{R}^\times, b \in \mathbb{R} \right\}$  とする. このとき,  $(\text{GL}_2(\mathbb{R}), \cdot)$  は行列の積  $(\cdot)$  に関して群となる.  
 (i)  $(\text{SL}_2(\mathbb{R}), \cdot)$  は  $(\text{GL}_2(\mathbb{R}), \cdot)$  の部分群である事を示せ.  
 (ii)  $(H, \cdot)$  は  $(\text{GL}_2(\mathbb{R}), \cdot)$  の部分群である事を示せ.